

障がいを知り、 共に生きる

SUPPORTER

SUPPORTER

SUPPORTER

SUPPORTER

まず、知ることからはじめましょう



私たちは街中で赤ちゃんが泣いていても何の疑問も感じません。
泣くことは赤ちゃんの自然な姿であり、それが普通のことだからです。

障がいのない方が不思議に思えることも、
障がいのある方にとってはごく普通のことであり、特別なことはありません。

普段、私たちが眼鏡をかけたり、
お年寄りに少し大きな声でゆっくり話しかけたりするように
不自由さを補う道具や援助があれば

障がいのある方にもできることはたくさんあります。
様々な障がいの特性や、障がいのある方への配慮を正しく理解することが
あたたかい地域社会を築き、

『一緒にくらす』ことへの第1歩になるのです。

あいサポート運動・あいサポーターについて

～まず、知ることからはじめましょう～

様々な障がいの特性や障がいのある方が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でちょっとした配慮を実践していく『あいサポーター』の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）をみなさんと一緒につくっていく運動です。

意欲のある方は、誰でもあいサポーターになることができます。次のいずれかの方法で、「あいサポートバッジ」「障がいの特性や必要な配慮等をまとめたパンフレット」を受け取ります。

- ①研修会、講演会、イベント等であいサポート運動の説明を受ける。
- ②「あいサポートバッジ等交付申込書」を提出する。

あいサポーターは、

「サポーター宣言」にのっとり、活動していただきます。

あいサポート運動は、平成21年11月鳥取県で創設し、平成23年4月からは島根県と連携して取り組んでいます。多くのみなさんの賛同を得て、あいサポーターの輪が広がっています。

注)このパンフレットに書いてあることをすべて完璧にする必要はありません。一人ひとりが自分でできると思うことから少しずつ始めていただくことが大切です。

目次

	ページ
●はじめに	2
●視覚障がいについて	4
●聴覚・言語障がいについて	6
●盲ろうについて	8
●肢体不自由について	10
●内部障がいについて	12
●重症心身障がいについて	14
●知的障がいについて	16
●自閉症・発達障がいについて	18
●精神障がいについて	20
●依存症について	22
●てんかんについて	24
●高次脳機能障がいについて	26
●身体障がい者補助犬について	28
●コミュニケーションボードについて	30
●ハートフル駐車場利用証制度について	33
●関係機関一覧	34



はじめに

● まず、障がいについて理解してください ●

障がいは誰にでも生じ得るものです。

病気や事故はいつ起こるかわかりません。
同様に、障がいはいつでも誰にでも生じ得るものなのです。

障がいは多種多様で同じ障がいでも一律ではありません。

障がいの種類も程度もさまざまであり、同じ障がいでも、その症状は一律ではありません。
また、複数の障がいを併せ持つ場合もあります。

外見で分るものだけでなく、外見では分らない障がいのため、理解されず苦しんでいる方もおられます。

障がいは多種多様であり、外見だけでは障がいがあることが分らないこともあるため、周囲に理解されず、苦しんでいる方もおられます。

周囲の理解や配慮があれば、活躍できることがたくさんあります。

目が悪くなれば眼鏡をかけるように、不自由さを補う道具や援助があれば活躍できることはたくさんあります。

障がいの種類・程度は人それぞれに違いますが、少しの介助があれば、地域の中で日常生活を営み、障がいのない方と同じ職場で働いている方や、趣味やスポーツなどで活躍している方もたくさんあります。

● そして、こんな配慮をお願いします ●

障がいのある方に対して冷たい視線を送ったり、見て見ないふりをするのは避けてください。
温かく接してください。

困っていそうな場面を見かけたら

「何かお困りですか」と一声かけて、自分でできるサポートをしましょう。
見守ることと、時には支える姿勢が大切です。

「障がいがあるから」と決め付けず

それぞれの個性や能力が生かせることを一緒に考えてみましょう。

介助者がいても

介助者ではなく本人に話しかけましょう。

自分のイメージですべての障がい者を見ないでください。
障がいだけを見るのではなく、

その人の全体像を見て接しましょう。

詳しくは

鳥取県福祉保健部障がい福祉課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220 電話：0857 (26) 7866
ホームページ：http://www.pref.tottori.lg.jp/shougai Fukushi/



視覚障がいについて

あなたに知ってほしいこと

視覚障がいとは

何らかの原因により視機能に障がいがあることにより、全く見えない場合と見えづらい場合とがあります。

見えづらい場合の中には

- 細部がよくわからない
- 光がまぶしい
- 暗いところで見えにくい
- 見える範囲が狭い、特定の色がわかりにくいなどの症状があります。

こんなことに困っています

- 一人で移動することが困難です。
慣れていない場所では、一人で移動することが困難です。
- 耳からの情報をたよりにしています。
目から情報を得にくいいため、音声や手で触れることなどにより情報を得ています。また、視覚障がいのある方すべてが点字を読めるとは限りません。
- 自分がどこにいるのか、側に誰がいるのか、説明がないと分かりません。
- 人の視線や表情が理解できず、コミュニケーションに苦労します。
- 文字の読み書きが困難です。また、タッチパネル式の機械はうまく操作できません。
- 「見えないからできない」のではなく、「見えなくても教えてもらえればできる」ことが多くあります。
- 点字ブロックの上に、物や自転車などが置かれていると困ります。

こんな配慮をお願いします

困っていそうなときは、声をかけましょう

白杖使用者を見かけたとき、困っているように見えたら声をかけましょう。視覚障がいのある方は、周りの状況がわからないため、会話が始められないことがあります。また、知っている相手でも声だけではわからないことがあります。声をかける時は、自分の名前や「あいサポーターです」など簡単な自己紹介をしましょう。

突然体にふれず前方から声をかけましょう

突然触れられると驚きます。声をかけるときは、できるだけ前方から話しかけましょう。また、点字や音声による情報をできるだけ増やしましょう。

指示語を使わないでください

「こちら、あちら、これ、それ」などの指示語や、「赤い看板」など視覚情報を表す言葉では、「どこ」か、「何」かわかりません。

「30センチ右」「時計で3時の方向」など具体的に説明しましょう。場合によっては、手で触れながら説明しましょう。

その人の「目」になる気持ち大切です

まず、どのような手助けが必要か尋ねましょう。

例えば、慣れていない場所では、左腕を持ってもらって誘導することができます。誘導するときは、障がいのある方のペースにあわせて歩きましょう。

詳しくは

社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



聴覚・言語障がいについて

あなたに知ってほしいこと

聴覚・言語障がいとは

聴覚障がいには、まったく聞こえない「ろうあ」と聞こえにくい「難聴」（例：話し言葉が聞こえない、小さい音が聞こえない等）とがあります。また、先天性のものと、事故や病気で途中から聞こえなくなる中途失聴とがあります。

言語障がいには、言葉の理解や適切な表現が困難な「言語機能の障がい」（失語症、言語発達障がいなど）と、言葉の理解には支障はなく発声だけが困難な「音声機能の障がい」（吃音（きつおん）症、構音障がい、発生機能喪失など）があります。また、聴覚障がいと言語障がいも重複することもあります。

こんなことに困っています

●周囲に気づいてもらえないことがあります。

外見では分りにくい障がいのため、周囲の方に気づいてもらえないことがあります。特に中途失聴の場合は、話せる方も多く、「挨拶をしたのに無視された」などと誤解をされることがあります。失聴した年齢時期、障がい程度などによって聞こえ方はさまざまです。また、発声が困難な音声機能の障がいのみの場合でも、言葉の理解や聴力にも障がいがあると誤解されることがあります。

●音によって周囲の状況を判断することができません。

放送や呼びかけ、自転車のベルなどに気づかないことがあります。

また、音による状況判断ができない場合があるため、危険な目にあうことがあります。

●コミュニケーション方法を間違われる場合があります。

聴覚障がいのある方とのコミュニケーション方法は、「手話」「筆談」「口話」などその方なりの方法があります。

●会話が困難なため、情報を得られないことがあります。

「聞こえないため、教えてもらえずできない」ことも多くあります。

●会話が困難なため、不便さを伝えることが困難です。

特に言語障がいのある場合は、知りたいことを質問できない不便さが理解されず、日常生活にさほど不自由していないと誤解されることがあります。

こんな配慮をお願いします

コミュニケーション方法を確認しましょう

会話の方法が適切でないと話を伝えることができない場合があります。その方の会話方法を確認しましょう。難聴や中途失聴の方には、要約筆記が望まれます。また、連絡手段として、ファクシミリや電子メールを活用することも必要です。

伝わりにくい場合があっても、あきらめず、伝える努力をしましょう。

- **筆談** 互いに文字を書き、意思を伝えあいます。もっとも手軽な手段です。
- **口話** 相手の口の動きを読み取る方法です。少しゆっくりはっきりと口を動かして話すようにしましょう。
- **手話** 手指や表情で表す視覚言語です。聴覚障がいの方の約2割程度の方が使用しています。
- **代用発声** 発生機能を喪失した音声機能障がいの人は、声帯の代わりに食道部を振動させて声にしたり（食道発声）、電動式人口喉頭を首に当てて声にしています。聞き取りにくい場合は、筆談を併用することもあります。

音声以外の情報伝達方法を

メール、ファックス、掲示板、パネル等視覚を通じた伝達方法を考えましょう。また、イベント等を開催する際は、手話通訳だけでなく要約筆記も活用しましょう。

聞き取りにくい場合は確認しましょう

特に言語障がいのある方への対応は、一つ一つの言葉を聞き分けることが大切です。分かったふりをせず、きちんと内容を確認しましょう。

詳しくは

鳥取県ろうあ団体連合会
鳥取県難聴者・中途失聴者協会
鳥取県清音会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



盲ろうについて

あなたに知ってほしいこと

盲ろうとは

視覚と聴覚の両方に障がいがあることを「盲ろう」といいます。盲ろうは、大きく分けて、次の4つのタイプがあります。

- 全盲ろう 全く見えず、全く聞こえない状態
- 盲難聴 全く見えず、少し聞こえる状態
- 弱視ろう 少し見えて、全く聞こえない状態
- 弱視難聴 少し見えて、少し聞こえる状態

また、「盲ろう」になる経緯も様々で、大きく次の4つに分けられます。

- 盲ベース盲ろう 視覚障がいがあり、のちに聴覚障がいを発症したもの
- ろうベース盲ろう 聴覚障がいがあり、のちに視覚障がいを発症したもの
- 先天的盲ろう 先天的に、あるいは乳幼児期に視覚と聴覚の障がいを発症したもの
- 成人期盲ろう 成人期以後に視覚と聴覚の障がいを発症したもの

こんなことに困っています

情報入手・コミュニケーション・移動などの様々な場面で大きな困難が生じます。自分の力だけで、情報を得たり、人と会話したり、外出・移動することが困難です。このため社会から孤立してしまうこともあります。

社会参加をするためには、情報入手・コミュニケーションの支援や移動の介助が不可欠です。そうした支援を受けて社会で活躍している人もたくさんおられます。

生活環境や視覚障がいと聴覚障がいの程度、またその障がいの発症時期により、コミュニケーションの方法がひとりひとり異なります。

家族や周りの支援者が、手のひらに文字を書いたり、触手話や指点字など、それぞれにあったコミュニケーション方法を生み出す努力と工夫をしています。

様々なコミュニケーション方法の一部を紹介します

- **手書き文字** 手のひらに指先等で文字を書き伝えます。
- **触手話** 相手の行う手話に触れて、手話の形で読み取ります。
- **指点字** 点字タイプライターのキーの代わりに、盲ろう者の指を直接たたいて点字を表します。6本の指を点字の6点に見立てます。
- **文字筆記**
視覚の活用が可能な方に対して紙やパソコンに文字を筆記して伝えます。文字の大きさ・間隔・線の太さなど見え方に合わせた配慮が必要です。
- **音声**
聴覚の活用が可能な方に対して耳元や補聴器のマイクなどに向かって話します。声の大きさ・抑揚・速さ・音の高さなど、聞こえ方に合わせた配慮が必要です。

こんな配慮をお願いします

まずは、話しかけてみましょう

まず、肩にそっと手を触れて話しかけてみましょう。聴力が使える人もあります。相手が気づいてくれたら、やさしく手を取って、手のひらに文字を書きみましょう。この方法でコミュニケーションを取ることができる人もあります。このように、いろいろ試行してその人にあったコミュニケーション方法を見つけましょう。

周りの状況を説明することも大切です

盲ろう者は、お互いの会話の内容だけでなく、周りの状況もわかりません。他の人の発言や、「道沿いに赤い花が咲いている」などの情景や、その場の状況を知らせることも大切です。

様々な支援があることを伝えてください

コミュニケーションを取ることが難しいので、社会的に孤立してしまいます。困難な状況にあるかたをみかけたら、様々な支援があることを伝えてください。

詳しくは

鳥取県盲ろう者友の会事務局

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



肢体不自由について

あなたに知ってほしいこと

肢体不自由とは

事故等による手足の損傷あるいは腰や首、脳の血管等に損傷を受けたり、先天性の疾患などによって生じる上肢・下肢にあるマヒや欠損等により、歩くことや物の持ち運びなど日常の動作や姿勢の維持が不自由になります。病気や事故で脳に損傷を受けた場合には、言葉の不自由さや記憶力の低下等を伴うこともあります。肢体不自由の中でも脳性マヒ・脊髄損傷・筋ジストロフィーなど全身に障がいがおよぶものを全身性障がいといいます。

こんなことに困っています

- 車いすを利用していると、
 - 十分なスペースがなかったり、ちょっとした段差や障害物があるために、移動することができないことがあります。
 - 高いところにあるもの、床にあるものなどをとることが困難です。
- ATM や自動販売機等、正面向きでは足が入らずに使いにくいです。
- 脊髄損傷の方では、手足が動かないだけでなく、感覚もなくなり、体温調節が困難です。
- 脳性マヒの方の中には、発語の障がいに加え、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまう（不随意運動）ため、自分の意思を伝えるのが難しい方もいます。
- 筋ジストロフィーは、筋肉が萎縮し、その機能を失っていく病気で、いくつかのタイプに分類されます。代表的なデュシェンヌ型では、幼児期に軽い運動障がい（転びやすい等）が多く見られますが、生活の様々な場面でサポートすることによって、障がいのない方と同じように生活を送ることができます。また、ベッカー型では15歳を過ぎても歩行可能なのが特徴です。全身の筋肉の萎縮変性は常に進行性であるため、その後、歩行不能になり全面的な介助を必要とする重度身体障がいとなります。

- 障がい者用駐車スペースが空いていないため、利用できないことがあります。
- 食えること、飲み込むことが困難（摂食嚥下障がい）な方には、食べ物にトロミをつけたり、細かく刻むなどの加工が必要です。また、外食時にはハサミやミキサーの貸し出しなどがあると助かります。

こんな配慮をお願いします

困っていそうなときは、声をかけてみましょう

さりげなく声をかけ、どんな手助けが必要か気軽に尋ねましょう。望まれる方法で対応することが大切です。

子ども扱いをしないようにしましょう

言葉がうまく話せない人に対して、子どもに対するような接し方をしないようにしましょう。

聞き取りにくい場合は確認しましょう

聞き取りにくいときは、分かったふりをせず、きちんと内容を確認しましょう。

詳しくは

社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会
鳥取県肢体不自由児・者父母の会連合会
社団法人日本筋ジストロフィー協会 鳥取県支部

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



内部障がいについて

あなたに知ってほしいこと

内部障がいとは

内臓機能の障がいであり、身体障害者福祉法では「心臓機能」「呼吸器機能」「腎臓機能」「ぼうこう・直腸機能」「小腸機能」「肝臓機能」「ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能」の7種類の機能障がいが定められています。

こんなことに困っています

- 外見から分かりにくく、周りから理解されにくいいため、電車やバスの優先席に座りにくいなど、心理的ストレスを受けやすい状況にあります。
- 障がいのある臓器だけでなく、全身状態が低下しているため、体力が低下し、疲れやすいです。重い荷物を持ったり、長時間立っているなどの身体的負担を伴う行動が制限されます。肝臓機能障がいの方はこういったことが、顕著にあらわれます。
集中力や根気が続かず、トラブルになる場合もあります。
- 障がい者用駐車スペースが空いていても、外見から分かりにくく、周りから理解されにくいいため利用できないことがあります。
- 「心臓機能障がい」で心臓ペースメーカー等を使用している方は、携帯電話から発せられる電磁波等の影響で誤作動する恐れがあります。
- 「呼吸器機能障がい」のある方は、タバコの煙などにより、大きな影響を受けます。
- 「腎臓機能障がい」には、人工透析治療を受けている方がいます。定期的な通院への理解と時間の配慮が必要です。
- 「ぼうこう・直腸機能障がい」で人工肛門・人工ぼうこうを使用されている方は、専用のトイレが必要です。

こんな配慮をお願いします

「外見からは分かりにくい障がい」があることを理解しましょう

障がいの種類や程度は様々です。外見では分かりにくく、周りから理解されず苦しんでいる障がいのある方がいることを知りましょう。

決められたルールやマナーを守りましょう

車内等で携帯電話を使用する時は、内部障がいのある方にとって生命に関わるものであることを知ったうえで、ルールやマナーを守った行動をしましょう。

風邪などをうつさないように配慮しましょう。

体力が低下しているため、風邪などに感染しやすくなっています。また、障がいのある臓器に悪影響を及ぼすこともあるので、周りの人は注意しましょう。



内部障がいのある方には、ハートプラスマークを付けられている方もいらっしゃいます。

詳しくは

社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



重症心身障がいについて

あなたに知ってほしいこと

重症心身障がいとは

重度の身体障がいと重度の知的障がいなどが重複している最も重い障がいです。自分で日常生活をおくることは困難であり、自宅で介護を受けたり、専門施設等に入所したりして生活しています。口の動きや目の訴えで意思を伝えますが、常時介護している方でないと理解しにくいです。また、医学的管理がなければ、呼吸することや栄養を摂取することも困難な状態を「超重症心身障がい」といいます。

●姿勢

ほとんど寝たままで自力では起き上がれない状態が多く、座るのがやっとです。

●移動

自力での移動や寝返りが困難で、座位や車いすなどで移動を行います。

●排泄・入浴

全介助となり大変な労力を要します。(知らせることができない(70%)。始末ができない(76%))。また、オムツを使っていることが多いので、同性の介護が原則となります。

●食事

自力ではできないため、スプーンなどで介助します。誤嚥を起こしやすいです。また、通常の食事が食べられない方は、細かく刻んだり飲み込みやすいようにトロミをつけたりします。外食時には、ハサミやミキサーの貸し出しがあると助かります。

●変形・拘縮

手、足が変形または拘縮しており、側わんや胸郭の変形を伴う方が多いです。

●筋緊張

極度に筋肉が緊張し、思うように手足を動かすことができません。

●コミュニケーション

言語による理解が困難です。声や身振りで表現します。常時介護している方でなければ理解が困難です。声や身振りの表現力は弱いですが、笑顔で応えます。

●健康

肺炎気管支炎を起こしやすく、70%以上の方がてんかん発作を起こすため、いつも健康が脅かされています。痰の吸引が必要な方が多いです。

●趣味遊び

音楽、散歩、おもちゃ、ムーブメントが好きな場合が多いです。

●超重症心身障がい

超重症心身障がいがある方は、水分と食べ物を鼻から胃へ注入する管をつけたり、呼吸がうまくできないため人工呼吸器をつけたりしています。このような障がいのある方は常に医師の管理が必要なため、外出することが難しいのが現状です。

こんな配慮をお願いします

どんなに重い障がいがあっても真剣に生きている命を守って欲しい

どんなに障がいがあっても必ず内に秘めた能力をもっています。その力が周囲の人々に大きな勇気や希望を与えます。

困っていそうなときは、声をかけてみましょう。

車いすやストレッチャーでの移動時に人手がいりそうなときは、介護している方に声をかけてみましょう。また、人工呼吸器などの医療機器のアラーム音が鳴っているときは、速やかに介護している方に知らせましょう

詳しくは

全国重症心身障害児（者）を守る会鳥取県支部事務局（岡田）

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



知的障がいについて

あなたに知ってほしいこと

知的障がいとは

発達期になんらかの原因で知的な能力が年齢相応に発達していない状態であること、及び、社会生活への適応に困難があることをいいます。

主な特徴は、「ことばを使う」「記憶する」「抽象的なことを考える」などに少し時間がかかります。また、仕事の手順をすぐ覚えることや、人とのやりとりにすばやく対応することが困難な場合があります。しかし、周囲の理解や支援によって、一步一步成長していける可能性を持っています。

障がいの現れ方は人それぞれで個人差があります。障がいを感じさせない方もいます。ことばや行動の意味が相手にうまく伝わらず、周りから誤解や偏見を受けることがあります。重度障がいのため常に同伴者と行動される方もいますが、障がいが軽度の場合は会社で働いている方も大勢います。

また、犯罪の被害者になりやすく、場合によっては加害者と間違われる場合もあります。

こんなことに困っています

- 複雑な会話や抽象的な概念が理解しにくいです。
- 人に尋ねたり、自分の意見を言うのが苦手な方もいます。
- 漢字の読み書きや計算が苦手な方もいます。
- ひとつの行動に固執したり、同じ質問を繰り返す方もいます。

こんな配慮をお願いします

ゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう

「一方的に話す」「ひとり言を言う」「同じ言葉を繰り返す」等コミュニケーションがうまくとれません。そのような時は、内容が理解できるようにゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう。

やさしく声をかけ、危険であることを知らせましょう

「赤信号でも渡る」「車が来ても避けない」「遮断機が下りても線路に入る」等危険が分からない、助けを求めることができない場合があります。そのような時は、やさしく声をかけ危険であることを知らせましょう。

落ち着ける場所に誘導しましょう

状況の変化に柔軟に対応できず、「ひっくりかえる」「泣きわめく」「飛び跳ねる」などのパニック行動が起こることがあります。そのような時は、落ち着ける場所に誘導しましょう。

思い込みで判断せず、見守ってみましょう

「通行する人を無表情で見ている」「ぴょんぴょん跳ねたりする」「ひとつのことにこだわる」など誤解されやすい行動をする場合があります。そのような時は、思い込みで判断せず見守りましょう。

知的障がいのある方の中には、重度で判断能力がない方もおられます。障がいのある方の目線で接してください。

詳しくは

社団法人鳥取県手をつなぐ育成会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください
県が作成しているパンフレット：「知ってほしい知的障害」

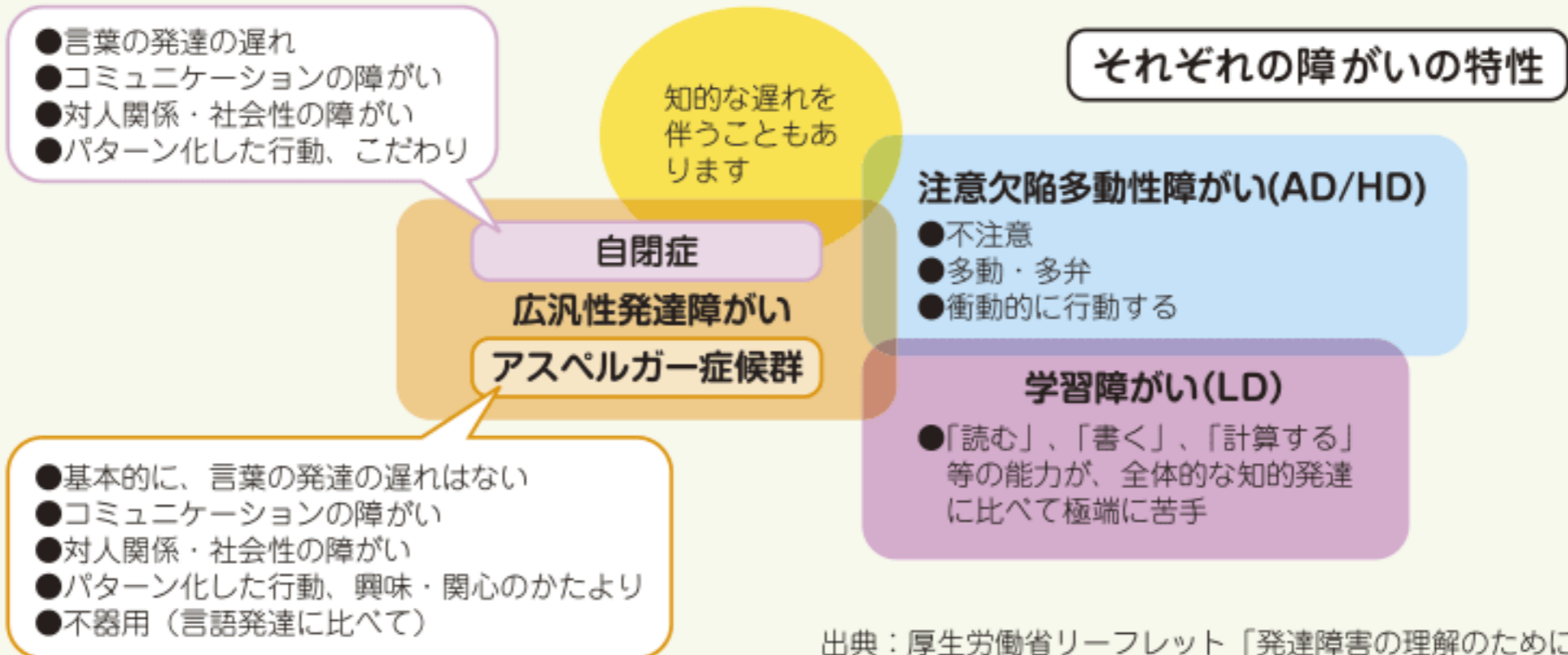


自閉症・発達障がいについて

あなたに知ってほしいこと

自閉症・発達障がいとは

障がいの困難さも目立ちますが優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。養育環境ではなく脳の機能障がいによるもので、どんな能力に障がいがあるか、またどのくらいの程度なのかは人によって様々です。



注意欠陥多動性障がい（ADHD）の特性

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力及び衝動性、多動性を特徴とします。次の3つの症状が通常7歳以前に現れます。

- うっかりして同じ間違いを繰り返してしまうことがあります（注意力散漫）
- おしゃべりが止まらなかつたり、待つことが苦手でうろうろしてしまったりすることがあります（多動性）
- 約束や決まり事を守れなかつたり、だしぬけに行動してしまうことがよくあります（衝動性）

学習障がい（LD）の特性

全般的な知的発達に遅れはないのに、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難があります。

- 音と文字のつながりを理解することや文字の視覚認知等が困難であるため、読むことや、書くことが極端に苦手であったりします
- 数字の認識や算数の基本となる概念を理解すること等が困難であるため、計算を行ったりすること等が極端に苦手であったりします

自閉症・アスペルガー症候群その他広汎性発達障がいの特性

●相互的な対人関係の困難さ

相手の気持ちを理解したり、相手の立場に立って物ごとを考えたりすることが苦手で、周囲の人と共感的な関係を築くことが難しいです。また、初対面の人と親しい人とを区別したかかわりが苦手で社会的な距離感が上手にとりにくい傾向があります。

●コミュニケーション能力の遅れやかたより

他人に意思を伝えること、理解することが苦手で、やり取りが一方通行になったり、例え話を理解できずそのまま受け取ってしまい困ってしまうことがあります。

●反復的で常同的な行動、興味、活動

変化に対応することが苦手で、同じ行動パターンや興味にこだわったり、場所、時間や道順の変更やルール違反などを極端に嫌ったりすることがあります。変化に対応できない時は混乱し、パニックを起こしてしまうこともあります。

こんな配慮をお願いします

「なぜできないのか」でなく、具体的に示しましょう

障がいがあるために困難なことを「なぜできないのか」「なまけているのではないか」と見られるのはつらいことです。どうするとよいか抽象的な表現はを極力減らし、短い文で、順を追って具体的に伝えましょう。

事前に見通しを示しましょう

「知らないこと」「初めてのこと」や変化に対応することが苦手で、言葉だけでなく、絵や写真も使ってあらかじめ本人が納得するように見通しを示しましょう。

詳しくは

特定非営利活動法人鳥取県自閉症協会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



精神障がいについて

あなたに知ってほしいこと

精神障がいとは

統合失調症や気分障がい（そううつ病）などの精神疾患では、幻覚や妄想、不安やイライラ感、ゆううつ感、不眠などが認められます。これらの症状は、薬を服用することや環境が安定することにより、軽快していきます。

一方で、「意欲や自発性がない」「集中力や持続性がない」「人付き合いに緊張しすぎる」「やる気がない」「疲れやすい」などの症状が見られることがあります。周囲から怠けているかのように見えるなどの誤解を受けることがあります。しかし、決して、怠けているとか、意志が弱いということではありません。これらの症状は、「陰性症状」ともいわれ、病気の症状が落ち着いてくる経過の中で認められるもので、これが「精神障がい」といわれるものです。

こんなことに困っています

統合失調症などの多くの症状は、症状が不安定な時期を過ぎると、しだいに回復し、安定していきます。その経過の中では、無気力になったり、集中力や持続力が低下したり、落ち込んだり、疲れや眠気を感じ、ひきこもりがちになるなど、日常生活や社会生活のしづらさがみられます。

● 周囲の援助はどうしたらよいのでしょうか ●

無理な励ましは、本人の過剰なストレスとなることがあります。
働きかけは、「具体的に」「はっきりと」「簡潔に」伝えましょう。
本人のペースに合わせたはたらきかけが必要です。
じっくりと、時間をかけることも必要です。

● 再発予防も必要です ●

精神疾患では、薬を中断したり、多くのストレスが重なると症状が再発することがあります。再発につながる注意サインを知っておくことも、再発予防になります。

不眠がみられたり、急に活動的になったり、ささいなことに過剰に反応するなど、注意のサインとみられる症状を知っておくことも大切です。

これらの症状がみられたら無理をさけて、ゆっくりと休養するようにはたらきかけることが大切です。主治医にも早めに相談しましょう。

● 本人の気持ちを大切にしてください。
● 疾患や障がいに対する正しい理解が
● 必要です。 ●

詳しくは

鳥取県精神障害者家族会連合会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください
県が作成しているパンフレット：「そううつ病（気分障害）はどんな病気？」



依存症について

あなたに知ってほしいこと

依存症とは

依存症は、快楽を得るために、依存している物質（アルコールや薬物など）や行為をやめようと思ってもやめられない状態をいいます。依存症は、必ずしも体の中に物質が入っているというわけではありません。依存症は、アルコール・薬物・たばこなどの物質に依存する「物質嗜癖（しへき）」のほか、ギャンブル・買い物・仕事などに依存する「プロセス嗜癖」などがあります。近年、ギャンブル依存症（病的ギャンブリング）なども問題とされてきています。

こんなことに困っています

- **自分の力だけで依存を断ち切るのは困難です。**

依存症は、心や体に変化が起こり、自分自身でもコントロールができない状態です。

依存には、自分の意志でコントロールできない「精神依存」や、実際にその物質を中断すると体に異常（離脱症状など）を生じる「身体依存」などが見られます。

- **依存症には治療が必要です。**

依存症は病気であり、そのため、身体的、家族的、社会的に様々な問題が生じてきています。したがって、治療が必要とされますが、まだまだ、個人の問題だととらえられ、なかなか、治療に対する周囲の理解が得られないことがあります。

こんな配慮をお願いします

依存症は、意志が弱いとか道徳観が低いからとか、家庭環境が悪いとかの社会問題として生じるものではなく、病気です。そのために、治療が必要です。治療の経過の中においては、家族や周囲の人が、依存症について正しく理解をし、関わることが大切です。

依存症の治療は、その物質をやめ続ける以外にありません。

例えば、アルコール依存症においては、節酒は不可能です。断酒以外に治療はありません。

医療機関においては、主に、精神療法と薬物療法が行われます。薬物療法は、離脱症状（アルコールなどが体から抜けるときに出てくる症状で、強い不安・不眠に襲われたり、手の震えや、時に幻覚などが生じることもある）に対する治療、精神症状（幻覚や妄想、抑うつ状態、不安、不眠など）の治療、肝機能障がいなどの身体的治療が行われます。

また、依存症は、回復はあっても完全に治ることはなく、病気と上手につきあっていくことが重要です。しかし、これらを完全に断つことは本人だけの力ではなかなか困難であり、自助グループなどへ参加することが重要です。

医療機関や県の各福祉保健局では、家族教室などを開催しているところもありますので、このような機関の利用もしてみてください。

アルコール依存症に関しては、断酒をサポートするための自助グループ（断酒会、AA）があり、薬物依存症者に関しては、回復施設としてダルクが全国に開設されており、自助グループ NA（ナルコティックス・アノニマス）と連動して活動・運営されています。

詳しくは

特定非営利活動法人鳥取県断酒会

A.A. 白うさぎグループ

鳥取ダルク

全国薬物依存症者家族会連合会・事務局

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



「てんかん」について

あなたに知ってほしいこと

「てんかん」とは

脳の神経の一部が活発に活動しすぎるために、「てんかん発作」がくり返しおきる病気です。てんかん発作は、神経の機能（はたらき）に対応した症状が現れます。身体の一部あるいは全身が痙攣したり、また意識だけが失われるなど症状は様々です。「てんかん」は、100～200人に1人の割合で生じ、日本には約100万人の方がおられると推計されています。遺伝病ではなく、どの年代でも見られる身近な病気で、薬や外科治療によって発作のほとんどはコントロールできます。

こんなことに困っています

- 正しい情報が知られていないため、「差別」や「誤解」、「偏見」が問題になりやすい病気です。
- 疲れすぎたり、寝不足が続くと発作が起きやすくなります。
- 発作が起きることへの不安から新しいことに挑戦することをあきらめたり、引きこもりがちになることもあります。

こんな配慮をお願いします

「てんかん」について正しい理解をしましょう

てんかん発作がおこったら

- まず、あわてずに見守りましょう。
- まわりの人ができること
 - ・危険を避ける
意識の失われる発作では、危ないものを遠ざけましょう。
倒れる危険性がある場合には、頭を床に打たせないようタオルなどやわらかいものを敷きましょう。
 - ・動作に自然に寄り添う
発作が起きている間は、無理に動かそうとせずにおきましょう。意識がなくて歩きまわるときは後ろから付いていくなど、自然に寄り添いましょう。
 - ・発作の様子をくわしく見ておく
発作の正しい時間を知るために時計を見る、発作の間の表情の変化を観察するなど発作の様子をくわしく見ておくことで病気を知る手がかりになります。
- やってはいけないこと
 - ・口にハンカチなどの物を入れる
 - ・痙攣を止めようと体を押さえる
 - ・早く意識を戻そうとして刺激する
- 意識が回復しないのに次の発作が連続して起きる、痙攣発作が10分以上続くようなときには、病院で受診しましょう

詳しくは

社団法人日本てんかん協会鳥取県支部

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください

県が作成しているパンフレット：「わかりやすい「てんかん」」

「てんかんの理解のために「てんかん」Q&A」



高次脳機能障がいについて

あなたに知ってほしいこと

高次脳機能障がいとは

人間の脳には、体を動かしたり、見たものや聴いたものを直接感じる『一次脳』と、それらの様々な情報を互いに伝えあう高度な働きをする『高次脳』とがあります。

交通事故などの頭部外傷や、脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患、病気によりこの高次脳に損傷がおきると、『言語』『思考』『記憶』『注意』などの様々な脳機能の一部に障がいが生じることがあります。これが高次脳機能障がいです。しかし、外見から分かりにくく、周囲の人が理解することが難しく、本人自身も自分の障がいを十分に認識できないことがあります。一人ひとりの症状も異なり、問題点が特定の状況にならないと見えてこないこともあります。主な原因に、脳卒中・脳腫瘍・脳外傷・脳炎・低酸素脳症などがあります。

こんなことに困っています

●記憶障がい

新しいことが覚えられない、よく物忘れをするようになった

●注意障がい

気が散りやすい、同じミスを繰り返す、同時に複数のことができない

●遂行機能障がい

スケジュールや計画の手順が立てられない

トラブル時の対応ができずに混乱する

●失語

話そうとしてもうまく話せない

●感情と社会的行動の障がい

いつもイライラしておこりっぽい、やる気が起きない、人が変わった

●外見からは見えにくい障がい

救命救急医療の発達で、社会復帰を果たしたものの「以前と何かが違う」と感じますが、本人も周りも理由が分からずとまどい、誤解し、トラブルになることがあります。

こんな配慮をお願いします

正しい理解と支援が求められています

日常生活や対人関係、仕事などがうまく行かず自信をなくし、混乱や不安の中にいることを理解しましょう。これまでの生活や人生観などを尊重した関わりをもつようにしましょう。

具体的に伝えましょう

ゆっくり、わかりやすく、具体的に話しましょう。
情報は、メモを書いて渡し、絵や写真、図なども使って伝えましょう。
何かを頼むときには、一つずつ、具体的に示しましょう。

気分転換を促しましょう

疲労やいらいらする様子が見られたら一休みして気分転換を促すようにしましょう。

「簡単」「シンプル」に!

「手順を簡単にする」「日課をシンプルにする」「手がかりを増やす」など、環境の調整をすることが大切です。

詳しくは

鳥取県高次脳機能障害者家族会

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください
県が作成したパンフレット：「高次脳機能障害を正しく理解しましょう」



身体障がい者補助犬について

あなたに知ってほしいこと

身体障がい者補助犬とは

身体障がい者補助犬とは、目・耳・手足に障がいのある方の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。「身体障害者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障がいのある方のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。

だからこそ、人が立ち入ることのできる様々な場所に同伴できます。

盲導犬

街中で視覚障がいのある方を、障害物をよけながら安全に誘導します。ハーネス（胴輪）をつけています。



聴導犬

聴覚に障がいのある方に音を知らせます。お湯の沸いた音、ドアチャイム、電話の着信音などを聞き分けて伝えます。「聴導犬」と書かれた表示をつけています。



介助犬

手や足などに障がいのある方の日常生活動作をサポートします。電気を付けたり、物を拾って渡したり、着脱衣の介助などをします。「介助犬」と書かれた表示を付けています。



身体障がい者補助犬の受入れへ理解と御協力をお願いします。

補助犬は、「身体障害者補助犬法」において、人の立ち入ることのできる様々な場所で受け入れるよう義務づけられています。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーを守ることができ、清潔です。だからこそ、さまざまな場所に同伴できます。補助犬は、身体に障がいのある方の自立と社会参加に重要な役割を担っています。

ご理解いただき、ご協力を御願います。

- 工作中的補助犬には、話しかけたり、勝手にさわったりして気を引く行為をしないようにしましょう。
- 補助犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。ユーザーは与える食事の量や水の量、時刻をもとに犬の排泄や健康を管理しています。
- 補助犬は、ユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。
- 受入れの際、他のお客様等には、「身体障害者補助犬法」において受入れ義務があること、補助犬の行動や管理はユーザーが責任をもって行っていることを説明し、理解を求めてください。
- 補助犬が通路をふさいだり、匂いをかぎ回るなど困った行動をしている場合は、補助犬ユーザーにはっきり伝えてください。
- 補助犬を同伴していても援助を必要とする場合があります。困っている様子を見かけたら、声をかけ、コミュニケーションをとってください。

詳しくは

鳥取県福祉保健部障がい福祉課

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください



コミュニケーションボード について

コミュニケーションボードとは

障がいのある人の中には、話し言葉でのコミュニケーションが苦手な人もおられます。しかし、絵や記号などわかりやすい方法があれば伝え合えることがあります。「コミュニケーションボード」とは、話し言葉に代わるコミュニケーションツールです。言葉でうまく伝え合えないとき、またそのやりとりの最中にこのコミュニケーションボードを差し出し、絵を指さしてもらいましょう。

コミュニケーションボードの使用方法

1) 基本的な使い方

- 言葉でうまく伝え合えないとき、そのやりとりの最中に「コミュニケーションボード」を指さしてもらいます。
- 「コミュニケーションボード」を使うときは、多くの言葉を使うことはやめ、多少ゆっくり見せて指さしできるように待ちましょう。
- 「コミュニケーションボード」が分からなくても、実物や写真なら分かる場合があります。また、文字や絵を書くことができる人もいます。
- 指さしすることが困難な人には、こちらが指さして聞きましょう。

2) マニュアル

(1) こんな時、「コミュニケーションボード」の出番です

- 当事者が困っている
→そわそわしている・ぶつぶつ言っている・困っている
- 対応する側が困っている
→言葉の意味が通じない・何を言っているのか分からない・何かを伝えたいことはわかる

(2) 「コミュニケーションボード」を利用しましょう

- 「わたしの伝えたいこと」を見せ、絵を指さしてもらいます。
- 指さした内容に答えましょう。

【※指させない場合】

- 「なに？」と問いかけて、指さしの見本を示しましょう。
- 「トイレ？」「いたい？」のように、推測されることを指さして聞いてみます。
- それでもうまく行かない場合は、一つずつ指さして聞いてみましょう。

つた わたしの伝えたいこと


What I want to communicate

トイレ



Restroom

いたい



Pain

のみたい



I am thirsty

たべたい



I am hungry

はい



Yes

いいえ



No

ほしい




I want it

やめて



Please stop

わからない



I don't understand

でんわ
してください



Please call

けいさつ

警察

Police station



道をおしえて

Please show me the way



おとした

I lost something



たすけて

Help

びょういん

病院

Hospital



いたい

Pain



からだ
(どこ?)

Which body part?



薬はどこ?

Where is the medicine?

What is your _____?

あなたの?
名前?



名前

Name



住所

Address



(0000)-0000

電話

Telephone number



名前

住所

電話



ハートフル駐車場利用証制度 について

あなたに知ってほしいこと

ハートフル駐車場利用証制度とは

県と協定を結んだ施設に専用駐車スペース（ハートフル駐車場）を設けてもらうとともに、身体等に障がいのある方など歩行が困難な方に「ハートフル駐車場利用証」を交付し、それを掲示した車がハートフル駐車場を優先して利用できるようにする制度です。

対象者は？

歩行が困難な方が対象です。

- 身体・知的・精神障がいにより歩行が困難な方
 - 発達障がい等により歩行に介助者の特別な注意等が必要な方
 - 要介護・要支援認定を受けた高齢者で歩行が困難な方
 - けがにより一時的に歩行が困難な方
 - 出産前後（妊娠7ヶ月から産後1年半）で一時的に歩行が困難な方など
- 詳しい要件はお問合せください。

利用証はどうしたらもらえるのか？

- 県庁福祉保健課・各福祉保健局・各市町村の交付窓口で、
- ①申請書
 - ②確認書類（障がい者手帳、母子健康手帳など）
- によって申請していただきます。



詳しくは

鳥取県福祉保健部福祉保健課

※連絡先は P34 ～関係機関一覧をご覧ください

関係機関一覧

鳥取県と島根県は、「あいサポート運動の共同推進に関する協定」を締結し、平成23年4月から、あいサポート運動を連携して取り組むこととしました。

ここでは、鳥取県と島根県における関係機関を掲載します。

鳥取県

【障がい者福祉関係団体（本文の再掲）】

区分	名称／所在地	電話	関連 頁
		FAX	
視覚障がい	社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会 〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉3丁目18-3	0859(35)4336	4
		0859(22)7688	
聴覚・言語障がい	鳥取県ろうあ団体連合会 〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地（県民ふれあい会館内）	0857(32)6070	6
	鳥取県難聴者中途失聴者協会 〒680-0846 米子市紺屋町12	—	
	鳥取県清音会 〒680-0846 境港市渡町2804-3	0859(22)4360	
		0859(45)8541 0859(45)8541	
盲ろう	鳥取盲ろう者友の会 〒683-0033 鳥取県米子市長砂町401菅澤則夫方	0859(35)0119	8
		0859(35)0119	
肢体不自由	社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地（県民ふれあい会館内）	0857(50)1070	10
	鳥取県肢体不自由児・者父母の会連合会 〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5（鳥取県社会福祉協議会内）	0857(50)1072	
	社団法人日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 〒689-4122 鳥取県西伯郡伯耆町坂長641-27	0857(59)6344 0857(59)6345	
内部障がい	社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地（県民ふれあい会館内）	0859(68)4615	12
		0859(68)4615	
重症心身障がい	全国重症心身障害児（者）を守る会鳥取県支部事務局（岡田） 〒689-0226 鳥取県西伯郡南部町高姫332	0857(59)6344	14
		0857(59)6345	
知的障がい	社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5（鳥取県社会福祉協議会内）	0859(64)3084	16
		0859(64)3084	
自閉症・ 発達障がい	特定非営利活動法人鳥取県自閉症協会 〒680-0821 鳥取県鳥取市瓦町601	0857(21)3031	18
		0857(21)3034	
依存症	特定非営利活動法人鳥取県断酒会 〒683-0361 鳥取県西伯郡南部町北方584（潮昭弘方）	0857(30)2776	22
	A.A.白うさぎグループ （A.A.中四国セントラルオフィス）	0857(30)2785	
	特定非営利活動法人鳥取タルク 〒681-0001 鳥取県岩美郡岩美町牧谷645-4	082(246)8608	
	全国薬物依存症者家族会連合会・事務局 〒323-0828 栃木県小山市若木町2-10-17 豊永マンション2階8号	0857(72)1151	
てんかん	社団法人日本てんかん協会鳥取県支部 〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉2-2-8（NPO法人あかり広場内）	0285(30)3313	24
		—	
高次脳機能障がい	鳥取県高次脳機能障害者家族会 〒683-0816 鳥取県米子市西倉吉町83-3（障害者生活支援センターまちくら内）	0859(35)0505	26
		0859(35)5647 080(1921)1711 0859(35)5648	

鳥取県

【市町村の相談機関】

市町村名	名称/所在地	電話
		FAX
東 部		
鳥取市 八頭町 智頭町 岩美町 若桜町	相談支援センター サマー・ハウス 〒680-0007 鳥取県鳥取市湯所町1-131	0857(36)1151
		0857(36)1152
鳥取市	障害者支援センター しらはま 〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野2259-17	0857(59)6036
		0857(59)2022
	障がい者支援センター そよかぜ 〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2-96	0857(22)9511 0857(24)3022
八頭町	八頭町障がい相談支援センター れしーぶ 〒680-0463 鳥取県八頭郡八頭町宮谷240-15	0858(73)0037 0858(73)0045
中 部		
倉吉市 湯梨浜町 琴浦町 北栄町 三朝町	中部障害者地域生活支援センター 〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43	0858(26)2346
		0858(26)2346
倉吉市	倉吉市障がい者地域生活支援センター はっぴい 〒682-0863 鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1	0858(22)6239 0858(23)7122
琴浦町	琴浦町障がい者地域生活支援センター 〒689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町徳万591-2 (琴浦町保健センター内)	0858(52)1706 0858(52)1524
北栄町	北栄町障がい者地域生活支援センター 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1 (北栄町役場内)	0858(37)5851 0858(37)5339
西 部		
米子市 南部町 江府町 伯耆町 日野町 日吉津村 日南町 境港市 大山町	障害者生活支援センター すてっぷ 〒683-0064 鳥取県米子市道笑町2-126-4 稲田地所第5ビル1階	0859(37)2120
		0859(37)2121
	障害者生活支援センター まちくら 〒683-0816 鳥取県米子市西倉吉町83-3	0859(35)5647
		0859(35)5648
	支援センター のぞみ 〒683-0851 鳥取県米子市夜見町3001-1	0859(30)0550
		0859(30)0551
相談支援事業所 エポック翼 〒683-0804 鳥取県米子市米原1460-7	0859(36)2005	
	0859(36)2007	
障害者支援センター さかいみなと 〒684-0071 鳥取県境港市外江町3413-3	0859(44)2520	
	0859(44)2526	

【県の相談機関】

地 域	名称/所在地	電話
		FAX
東 部	鳥取県東部総合事務所福祉保健局 ・東部福祉事務所 ・鳥取保健所 ・東部身体障害者更生相談所 ・東部知的障害者更生相談所 〒680-0901 鳥取県鳥取市江津730	0857(22)5163
		0857(22)5669
中 部	鳥取県中部総合事務所福祉保健局 ・中部福祉事務所 ・倉吉保健所 ・中部身体障害者更生相談所 ・中部知的障害者更生相談所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町2	0858(23)3124
		0858(23)4803
西 部	鳥取県西部総合事務所福祉保健局 ・西部福祉事務所 ・米子保健所 ・西部身体障害者更生相談所 ・西部知的障害者更生相談所 〒683-0802 鳥取県米子市東福原1-1-45	0859(31)9300
		0859(34)1392

島根県

【障がい者福祉関係団体】

区分	名称／所在地	電話	関連 頁
		FAX	
視覚障がい	ライトハウスライブラリー 〒690-0884 松江市南田町141-10	0852-24-8169	4
	島根県西部視聴覚障害者情報センター 〒697-0016 浜田市野原町1826-1	0852-28-4321	
聴覚・言語障がい	島根県聴覚障害者情報センター 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0855-24-9334	6
	島根県西部視聴覚障害者情報センター 〒697-0016 浜田市野原町1826-1	0852-32-5960 0852-32-5961	
盲ろう	ライトハウスライブラリー 〒690-0884 松江市南田町141-10	0855-24-9334	8
	島根県聴覚障害者情報センター 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5960 0852-32-5961	
肢体不自由	島根県西部視聴覚障害者情報センター 〒697-0016 浜田市野原町1826-1	0855-24-9334	10
	島根県身体障害者団体連合会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0855-24-9335	
内部障がい	島根県身体障害者団体連合会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5972	12
	島根県心身障害児(者)親の会連合会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5982	
知的障がい	島根県手をつなぐ育成会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5976	14
	島根県手をつなぐ育成会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5982	
自閉症・ 発達障がい	島根県手をつなぐ育成会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5976	16
	島根県手をつなぐ育成会 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5982	
自閉症・ 発達障がい	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	050-3387-8699	18
	島根県西部発達障害者支援センター ウィンド 〒697-0005 浜田市上府町イ2589 こくぶ学園内	0853-43-2256	
精神障がい	島根県西部発達障害者支援センター ウィンド 〒697-0005 浜田市上府町イ2589 こくぶ学園内	0855-28-0208	20
	島根県西部発達障害者支援センター ウィンド 〒697-0005 浜田市上府町イ2589 こくぶ学園内	0855-28-0217	
精神障がい	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-32-5927	22
	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-32-5927	
依存症	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-66-3612	24
	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-66-3612	
てんかん	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-23-5320	26
	島根県東部発達障害者支援センター ウィッシュ 〒699-0822 出雲市神西沖町2534-2 さざなみ学園内	0852-23-5320	
高次脳機能障がい	島根県立心と体の相談センター 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-21-2885	26
	島根県立心と体の相談センター 〒690-0011 松江市東津田町1741-3	0852-32-5924	

サポーター宣言

わたしたちは、多様な障がいの特性を理解し、
お互いが分かり合えるように務めます。

わたしたちは、日常生活で
障がいのある方が困っている場面を見かけたら、
声をかけ、手助けを行います。

わたしたちは、「あいサポート」バッジを身につけ、
気軽に声をかけやすい環境をつくります。

わたしたちは、「あいサポート」の仲間の輪を広げ、
共に生きるよろこびを伝えます。



あいサポートバッジについて (障がい者サポーター シンボルバッジ)

障がいのある方を支える「心」を2つのハートを重ねることで表現しました。

後ろの白いハートは、障がいのある方を支える様子を表すとともに、「SUPPOTER (サポーター)」の「S」を表現しています。

ベースとしている「橙色(だいたいいろ)」は、鳥取県出身で日本の障がい者福祉に尽力された糸賀一雄氏の残した言葉「この子らを世の光に」から「光」や、「暖かさ」をイメージするものとしています。

また、「だいたい(代々)」にちなみ、あいサポーター(障がい者サポーター)が広がって、共生社会が実現されることへの期待も込められています。「あいサポート」とは

「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。

平成 24 年 10 月改訂



編集・発行 鳥取県福祉保健部障がい福祉課

〒680-8570 鳥取市東町 1-220

電話：0857 (26) 7866 FAX：0857 (26) 8136

編集協力 社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会／鳥取県ろうあ団体連合会／鳥取県難聴者中途失聴者協会
鳥取県清音会／鳥取盲ろう者友の会／社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会
鳥取県肢体不自由児・者父母の会連合会／社団法人日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部
社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会／全国重症心身障害児(者)を守る会鳥取県支部
社団法人鳥取県手をつなぐ育成会／特定非営利活動法人鳥取県自閉症協会
鳥取県精神障害者家族会連合会／特定非営利活動法人鳥取県断酒会
特定非営利活動法人鳥取ダルク／社団法人日本てんかん協会鳥取県支部
鳥取県高次脳機能障害者家族会